



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 協同飼料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 泰正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青山 徹 (TEL) 045-461-5711
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	95,351	△3.7	1,237	—	1,278	—	512	—
24年3月期第3四半期	99,037	12.9	△110	—	△615	—	△630	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 445百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △662百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.19	—
24年3月期第3四半期	△6.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	51,102	11,941	23.4
24年3月期	47,765	11,797	24.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,937百万円 24年3月期 11,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,000	△0.1	1,400	84.6	1,300	535.8	600	—	6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	103,995,636株	24年3月期	103,995,636株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	5,201,064株	24年3月期	5,199,946株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	98,794,792株	24年3月期3Q	98,796,125株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな持ち直し傾向にあるものの、欧州債務危機・中国の経済減退や円高傾向、株安基調が続くなど不透明な状況でしたが、12月の政権交代による経済政策への期待感から円安・株高へと変調の兆しが見られました。

飼料畜産業界におきましては、主原料であるとうもろこしが米国の大干ばつにより急激に高騰し、8月に史上最高値を更新しました。その後、米国産とうもろこしは、生産量増加や輸出需要減少から在庫量が増加し、若干値を下げましたが、依然として高値で推移しております。また、最近の外国為替は円安傾向となっておりますが、海上運賃は世界的な需要減退により荷動きが鈍化しているため比較的安定しております。

畜産物市況は、豚肉相場は需給のアンバランス等により期を通じて前年同期を下回りましたが、牛肉相場は需要回復により前年同期を大きく上回りました。鶏卵相場は前年同期を下回りました。

こうした環境にあって当社グループの配合飼料の販売数量は微減となりました。売上高は配合飼料の販売価格を10月に値上げしたものの平均販売価格が前年同期を下回ったこと及び消費者の低価格志向による畜産物相場の低迷などから、953億5千1百万円（前年同期比3.7%減）となりました。営業利益はコスト低減等により12億3千7百万円（前年同期は1億1千万円の営業損失）となり、経常利益も12億7千8百万円（前年同期は6億1千5百万円の経常損失）となりました。また当四半期純利益は5億1千2百万円（前年同期は6億3千万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は微減となり、売上高は666億4千5百万円（前年同期比2.4%減）となりました。営業利益は配合飼料価格安定基金の負担金増加などがあったもののコスト低減と貸倒引当金繰入の減少などにより19億4千4百万円（前年同期比466.7%増）となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、消費者の低価格志向の影響から、売上高は287億5百万円（前年同期比6.6%減）となり、営業利益は1億3千万円（前年同期比56.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、資産につきましては、受取手形及び売掛金の増加などにより、合計は511億2百万円（前期末比7.0%増）となり、33億3千6百万円増加しました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加などにより、合計は391億6千万円（前期末比8.9%増）となり、31億9千2百万円増加しました。

また、純資産につきましては、配当金の支払いによる資本剰余金の減少などがあったものの、利益剰余金の増加などにより合計は119億4千1百万円（前期末比1.2%増）となり、1億4千4百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は平成24年10月23日に公表したとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、従来有形固定資産の減価償却方法については、主に定率法を採用(平成10年4月1日以降に取得した建物は定額法)しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、当社グループの有形固定資産の使用実態を見直した結果、長期的かつ安定的に使用される資産が大部分を占め、また新規設備投資が一段落し維持・更新の投資が中心となり、今後は安定的な製造が見込まれる状況になったことなどから、減価償却費の期間配分を平準化できる定額法がより経営の実態にあった業績を表すと判断したために行ったものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は1億3千6百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億7千5百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,459	1,604
受取手形及び売掛金	21,218	25,042
商品及び製品	647	888
仕掛品	487	584
原材料及び貯蔵品	4,260	4,267
繰延税金資産	64	63
短期貸付金	277	266
その他	1,265	1,322
貸倒引当金	△32	△37
流動資産合計	29,649	34,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,828	2,816
機械装置及び運搬具(純額)	2,191	2,369
土地	3,577	3,340
建設仮勘定	30	21
その他(純額)	390	408
有形固定資産合計	9,018	8,955
無形固定資産		
その他	853	782
無形固定資産合計	853	782
投資その他の資産		
投資有価証券	4,268	4,205
長期貸付金	1,656	1,557
長期未収入金	1,455	1,464
破産更生債権等	349	172
繰延税金資産	2,641	2,687
その他	597	566
貸倒引当金	△2,725	△3,291
投資その他の資産合計	8,244	7,361
固定資産合計	18,116	17,099
資産合計	47,765	51,102

協同飼料(株)(2052) 平成25年3月期第3四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,438	17,323
短期借入金	7,524	6,039
未払法人税等	195	590
賞与引当金	323	166
その他	2,960	3,140
流動負債合計	25,442	27,262
固定負債		
長期借入金	8,606	10,018
退職給付引当金	1,297	1,301
役員退職慰労引当金	145	138
資産除去債務	272	273
その他	204	166
固定負債合計	10,525	11,898
負債合計	35,968	39,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,749
利益剰余金	2,269	2,680
自己株式	△523	△524
株主資本合計	11,893	12,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	△180
繰延ヘッジ損益	△0	12
その他の包括利益累計額合計	△99	△168
少数株主持分	3	4
純資産合計	11,797	11,941
負債純資産合計	47,765	51,102

協同飼料(株)(2052) 平成25年3月期第3四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	99,037	95,351
売上原価	88,962	84,947
売上総利益	10,075	10,404
販売費及び一般管理費	10,185	9,166
営業利益又は営業損失(△)	△110	1,237
営業外収益		
受取利息及び配当金	70	75
持分法による投資利益	113	—
その他	188	316
営業外収益合計	371	391
営業外費用		
支払利息	199	197
貸倒引当金繰入額	514	—
持分法による投資損失	—	23
その他	162	130
営業外費用合計	876	350
経常利益又は経常損失(△)	△615	1,278
特別利益		
固定資産処分益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産評価損	96	158
災害による損失	92	—
投資有価証券評価損	77	—
特別損失合計	266	158
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△882	1,127
法人税等	△252	613
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△630	514
少数株主利益	0	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△630	512

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△630	514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△83
繰延ヘッジ損益	△2	13
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	△31	△68
四半期包括利益	△662	445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△662	444
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,294	30,742	99,037	—	99,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	—	50	△50	—
計	68,344	30,742	99,087	△50	99,037
セグメント利益又は損失(△)	343	297	640	△751	△110

(注) 1 セグメント損失の調整額△751百万円には、セグメント間の取引消去3百万円及び配賦不能営業費用△755百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社総務等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,645	28,705	95,351	—	95,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	—	48	△48	—
計	66,693	28,705	95,399	△48	95,351
セグメント利益	1,944	130	2,075	△837	1,237

(注) 1 セグメント利益の調整額△837百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円及び配賦不能営業費用△837百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社総務等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、従来定率法を採用していた有形固定資産の減価償却の方法を定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の飼料事業セグメント利益が1億1千9百万円増加し、畜産物セグメント利益が1千1百万円増加しております。また、「調整額」に含まれる各報告セグメントに配分していない全社費用が5百万円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。